



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 正明 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	67,693	△10.9	3,554	△4.4	2,988	16.9	△2,899	—
24年3月期第3四半期	75,974	9.4	3,716	154.1	2,555	149.4	△8,233	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,089百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △10,066百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△45.78	—
24年3月期第3四半期	△125.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	88,383	20,599	21.0	△172.95
24年3月期	94,440	20,144	17.5	△205.72

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 18,586百万円 24年3月期 16,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△20.4	4,900	△16.9	4,600	6.2	△1,500	—	△23.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成25年2月8日）公表いたしました「特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）株式会社積水工機製作所
（注）詳細は、（添付資料）4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	68,101,592株	24年3月期	68,101,592株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,758,626株	24年3月期	4,758,626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	63,342,966株	24年3月期3Q	65,857,574株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。特に、子会社の売却においては、国内・海外の経済情勢が個別案件の売却交渉の進捗に影響を与え、売却の時期や金額が想定と異なることがあり、これに伴い業績が大きく変動する可能性がございます。なお、上記予想に関する事項は（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済においては回復基調を維持しているものの、中国を含む新興国の経済成長はやや鈍化し、欧州においては緊縮財政や債務問題を受けて景気悪化が長期化する等、依然として厳しい状況が続きました。国内経済においては復興需要が景気を下支えているものの、円高や日中摩擦の影響等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、新たな体制として平成24年4月1日より「事業本部制」に組織再編し、2012年度をスタートさせました。当社グループが世界5極でグローバルに発展し、事業の永続的な成長を達成するためには、①企業価値の最大化、②連峰経営の負の部分の解消、③リスクを先送りにしないガバナンス体制の構築、④人材の育成が、重要な経営指針と考えており、その展開に全社を挙げて取り組んでおります。また、固定費削減及び非コア事業からの撤退等の事業再構築を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高67,693百万円（前年同四半期比10.9%減）、営業利益3,554百万円（前年同四半期比4.4%減）、経常利益2,988百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。なお、タイの洪水被害に係る受取保険金として1,424百万円の特別利益を計上した一方で、事業構造改善費用として7,904百万円の特別損失を計上したこと等により、四半期純損失2,899百万円（前年同四半期は四半期純損失8,233百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。（下記表中の「差引」欄の各金額は、当第3四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高、売上総利益及び営業利益の合計額を示しております。）

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		
	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高（百万円）	75,974	13,433	62,541	67,693	2,385	65,308
売上総利益（百万円）	14,440	1,648	12,792	13,433	255	13,177
営業利益（百万円）	3,716	157	3,559	3,554	△43	3,597

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①開発支援事業

開発支援事業におきましては、海外では、アジアにおいて、タイの洪水に伴う生産の停滞が解消し、欧州では、自動車をはじめとする輸送機器分野における需要が堅調に推移しました。北米では、医療機器関連の新規顧客の獲得により、堅調な伸びを見せました。国内では、東日本大震災からの生産活動の回復が見られたものの、自動車をはじめとする輸送機器分野においては中国向け販売量の落ち込みから回復が鈍くなっており、民生機器分野で需要の落ち込みが見られました。その結果、売上高22,450百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業利益2,570百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比8.8%増、営業利益は前年同四半期比24.0%増となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		
	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	26,209	5,581	20,627	22,450	—	22,450
セグメント利益(百万円)	2,709	636	2,072	2,570	—	2,570

②量産事業

量産事業におきましては、国内では、受注の低迷が継続する中、利益率の改善を図るべく、さらなる固定費削減策の実施や、生産性向上活動を実施しております。一方、海外では、タイにおける民生機器関連の受注や、韓国及び欧州子会社における自動車生産量の増加に伴い、需要が堅調に推移しました。その結果、売上高30,054百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益1,824百万円(前年同四半期比20.1%増)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比9.1%増、営業利益は前年同四半期比8.7%増となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		
	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	27,754	1,452	26,301	30,054	1,362	28,691
セグメント利益(百万円)	1,519	△136	1,656	1,824	25	1,799

③金型事業

金型事業におきましては、国内では、開発案件が少ない中、競合先との競争激化の影響を受けたものの、前連結会計年度において実施した生産体制の最適化により、収益性が回復しました。一方、海外では、特にフランス自動車業界における景気減退により販売が減少しました。その結果、売上高15,188百万円(前年同四半期比31.0%減)、営業利益178百万円(前年同四半期比10.6%減)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比9.3%減、営業利益は前年同四半期比54.5%減となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		
	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第3四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	22,010	6,398	15,611	15,188	1,022	14,166
セグメント利益(百万円)	199	△343	543	178	△68	247

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第3四半期連結会計年度末における総資産は88,383百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,057百万円減少致しました。これは主に、連結子会社でありました(株)積水工機製作所等の子会社8社を連結の範囲から除いたためであります。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,894百万円減少し、53,609百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が3,880百万円(うち連結除外影響額2,501百万円)減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,162百万円減少し、34,773百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1,548百万円(うち連結除外影響額4,302百万円)減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,511百万円減少し、67,784百万円となりました。これは主に、流動負債が3,701百万円(うち連結除外影響額4,875百万円)減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ454百万円増加し、20,599百万円となりました。これは主に、四半期純損失を2,899百万円計上し少数株主持分が1,621百万円減少したものの、為替換算調整勘定が4,855百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の業績及び今後の見通し等を踏まえ、平成24年12月5日に公表しました平成25年3月期の業績予想を修正致しました。

詳細につきましては、本日(平成25年2月8日)別途公表致しました「特別損失の発生及び通期期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において当社の連結子会社でありました(株)積水工機製作所は株式譲渡により連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,511	25,156
受取手形及び売掛金	23,468	19,587
有価証券	825	0
商品及び製品	1,000	939
仕掛品	4,625	2,961
原材料及び貯蔵品	1,730	1,982
繰延税金資産	140	279
その他	3,446	2,932
貸倒引当金	△243	△231
流動資産合計	57,504	53,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,450	16,977
減価償却累計額	△11,484	△9,656
建物及び構築物(純額)	7,965	7,320
機械装置及び運搬具	27,976	21,316
減価償却累計額	△21,434	△14,591
機械装置及び運搬具(純額)	6,542	6,724
工具、器具及び備品	11,030	11,710
減価償却累計額	△8,410	△8,333
工具、器具及び備品(純額)	2,620	3,376
土地	7,767	5,029
建設仮勘定	520	1,415
有形固定資産合計	25,415	23,866
無形固定資産		
のれん	2,179	1,321
その他	558	493
無形固定資産合計	2,737	1,815
投資その他の資産		
投資有価証券	5,460	6,021
長期貸付金	1,461	1,427
繰延税金資産	110	96
その他	2,663	2,353
貸倒引当金	△913	△808
投資その他の資産合計	8,782	9,091
固定資産合計	36,935	34,773
資産合計	94,440	88,383

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,162	8,813
短期借入金	6,932	5,313
1年内返済予定の長期借入金	1,726	1,195
リース債務	191	127
未払金	1,661	1,104
未払法人税等	419	493
未払費用	1,460	1,305
繰延税金負債	56	3
賞与引当金	561	571
事業構造改善引当金	80	2,271
その他の引当金	93	112
その他	5,427	5,760
流動負債合計	30,775	27,073
固定負債		
社債	90	75
長期借入金	32,730	32,767
リース債務	363	324
繰延税金負債	7,767	5,134
再評価に係る繰延税金負債	14	14
退職給付引当金	2,143	2,073
役員退職慰労引当金	109	105
その他の引当金	28	48
その他	272	167
固定負債合計	43,520	40,710
負債合計	74,295	67,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,171	12,171
資本剰余金	15,980	15,980
利益剰余金	△4,388	△7,175
自己株式	△24	△24
株主資本合計	23,739	20,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	8
土地再評価差額金	△162	△162
為替換算調整勘定	△7,067	△2,211
その他の包括利益累計額合計	△7,228	△2,365
少数株主持分	3,633	2,012
純資産合計	20,144	20,599
負債純資産合計	94,440	88,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	75,974	67,693
売上原価	61,533	54,260
売上総利益	14,440	13,433
販売費及び一般管理費	10,723	9,878
営業利益	3,716	3,554
営業外収益		
受取利息	101	120
持分法による投資利益	226	193
その他	508	462
営業外収益合計	836	777
営業外費用		
支払利息	1,206	968
為替差損	390	61
その他	401	313
営業外費用合計	1,997	1,343
経常利益	2,555	2,988
特別利益		
固定資産売却益	522	439
受取保険金	492	1,425
投資有価証券売却益	340	25
関係会社株式売却益	—	68
その他	365	6
特別利益合計	1,721	1,965
特別損失		
固定資産除売却損	27	74
事業構造改善費用	4,347	7,904
投資有価証券評価損	16	177
災害による損失	1,307	130
減損損失	369	1,077
その他	135	54
特別損失合計	6,203	9,419
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,926	△4,465
法人税、住民税及び事業税	369	655
法人税等調整額	6,072	△2,364
法人税等合計	6,442	△1,709
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,368	△2,756
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△134	143
四半期純損失(△)	△8,233	△2,899

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△8,368	△2,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	2
繰延ヘッジ損益	△9	—
土地再評価差額金	2	—
為替換算調整勘定	△1,324	4,062
持分法適用会社に対する持分相当額	△315	780
その他の包括利益合計	△1,698	4,845
四半期包括利益	△10,066	2,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,845	1,962
少数株主に係る四半期包括利益	△221	126

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	量産事業	金型事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,209	27,754	22,010	75,974	—	75,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	290	1,443	296	2,031	△2,031	—
計	26,499	29,198	22,306	78,005	△2,031	75,974
セグメント利益	2,709	1,519	199	4,428	△711	3,716

(注) 1. セグメント利益の調整額△711百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△641百万円、セグメント間取引消去による発生額△69百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	量産事業	金型事業	調整額	合計
減損損失	—	—	369	—	369

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	量産事業	金型事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,450	30,054	15,188	67,693	—	67,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	212	1,479	194	1,885	△1,885	—
計	22,662	31,533	15,383	69,579	△1,885	67,693
セグメント利益	2,570	1,824	178	4,573	△1,019	3,554

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,019百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△935百万円、セグメント間取引消去による発生額△83百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	量産事業	金型事業	調整額	合計
減損損失	190	887	—	—	1,077

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは組織変更を契機に、業績管理区分の見直しを行っております。これにより、報告セグメントを従来の「開発支援事業」及び「金型支援事業」の2区分から、「開発支援事業」、「量産事業」及び「金型事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。